

経営比較分析表

佐賀県 太良町

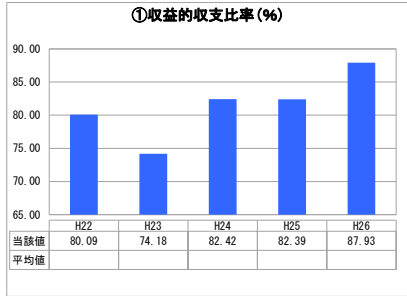
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.71	100.00	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,550	74.30	128.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
635	0.16	3,968.75

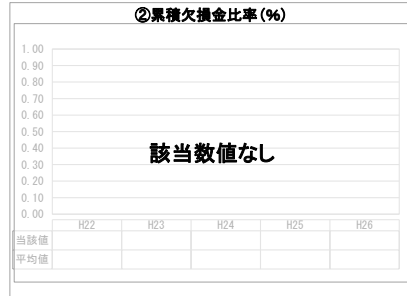
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



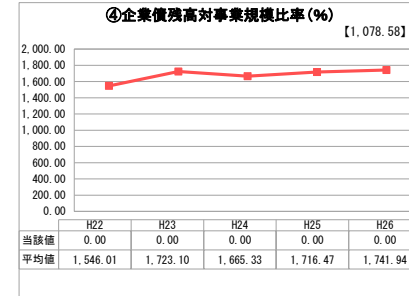
「単年度の収支」



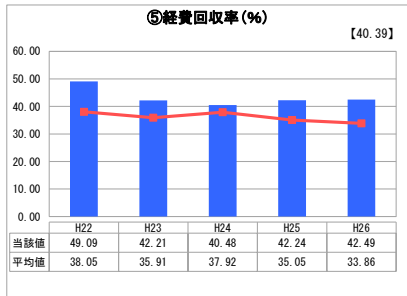
「累積欠損」



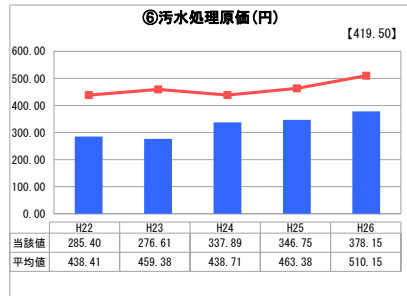
「支払能力」



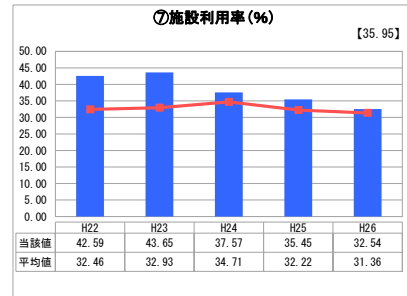
「債務残高」



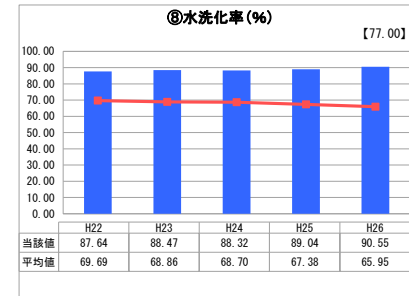
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

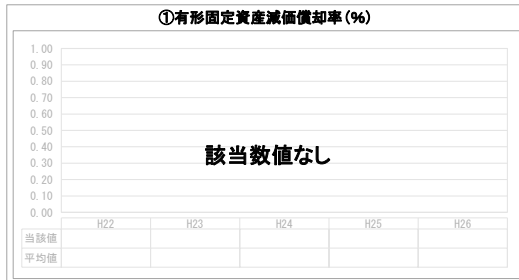


「施設の効率性」

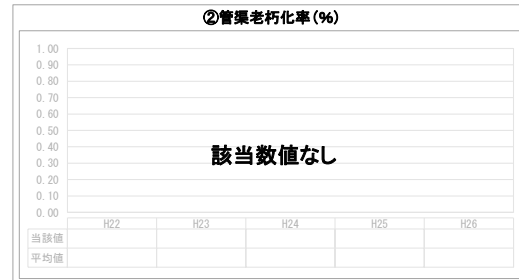


「使用料対象の捕捉」

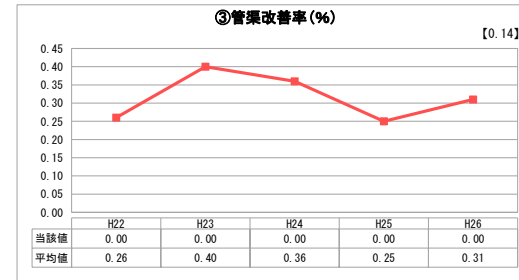
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、70～80%代で推移しており、単年度収支は赤字となっている。当初計画の処理対象人口と比較し、高齢化、少子化による人口減が急速に進み、また不景気による観光客の減少などにより料金収入が年々減少しているため、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況が続いている。そのため経費回収率についても、40%台で推移している。収入面では、接続率の向上や料金見直しについて検討を行っているが厳しい状況である。支出面では、施設稼働サイクル見直しによる電気料金削減など維持管理費の削減に一定の成果が出ている。

2. 老朽化の状況について

処理場内の機器更新や中継ポンプの点検などを計画的に行い、長寿命化を図っている。老朽化対策としては、計画的に処理場等の長寿命化を図っていく。

全体総括

経費回収率は類似団体に比べ良好であるものの、40%台と低い水準で推移しており維持管理費を一般会計繰入金で賄っている状況である。今後は、大幅な料金収入増は見込めないため、維持管理費の見直しを検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。